

新たな情報通信技術戦略の策定に関する意見

1. 個人／団体の別：個人
2. 氏名／団体名：非公開
3. 連絡先：非公開
4. ご意見：

・重点施策の中で特に優先的に取り組むべきものは何か。

提示されている課題はどれも重要な課題ですが、敢えて挙げると第3の柱うち、高度 IT 人材育成に関しての外国人への日本語能力育成の課題を挙げます。私はハノイ工科大学での ICT 人材育成 (HEDSPI) プロジェクトおよびアジア人財育成プロジェクトに関わって仕事をした経験から、この課題の重要性を強調します。ご存知のように英語教育は永くかつ広範囲の経験からさまざまなノウハウが蓄積され、多くの教師が育っていますが、日本語教育は、カルチャースクールの文化活動の域を出ていません。近年、IT 人材、医療介護スタッフなど外国人への日本語教育が始まっていますが、十分な成果どころか、最低限の役割も果たしていない現状は広く報道されています。その理由の1つに日本語教師がいまだに「文系出身者」で占められ、文系的発想で進められている現状があります。しかし、学んでいるのは理系の学生です。理系と文系の発想の違いは非常に大きく、文系的発想で作られた教育プランで理系学生を教えると、非常に時間がかかったり、中途脱落者が続出することが分かっています。日本人が外国人に対してしっかりした日本語教育ができるようになることは日本政府の責務であると思っています。

・各重点施策についてそれぞれどのような目標・スケジュールを設定して取り組むべきか。

- (1) IT 人材に対する日本語教育の現状と問題点を広く調査する。
 - (2) 理系学生に対する日本語教育の在り方と進め方を確立する
 - (3) それを基に、IT 人材育成ような日本語教科書を作成する
 - (4) IT 日本語が教えられる日本人教師を育成する
- (1)・(2)は1年次、(3)の2・3年次、(4)3・4年次、

・各重点施策の推進にあたって取り組むべき課題、留意すべき点は何か。

- (1) 単純に「日本語教育協会」などに丸投げしないこと、そうなれば何も変わらない。IT 日本語を教えた経験のある人を中心にする
- (2) 近年の自然言語処理の研究成果を十分に活用すること
- (3) 日本語教育の視点からのコーパスの構築を並行して進めること

・重点施策の中で特に優先的に取り組むべきものは何か。

もう一つ重要課題として、言語バリアの視点からの「ユニバーサルデザイン」の課題を挙げます。現在、ユニバーサルデザインは、ドキュメントとくに Web ページのレイアウト、フォント、色などのいわゆるデザインが重点で行われていますが、言語障壁の除去はそれ以上に重要な課題です。刑法の口語化や保険契約書の契約者向け改善などにその方向は向かっていますが、これではユニバーサルデザインの基本思想は実現できません。わが国には、自然言語処理において非常に優れは成果を出している国で、特にアジア言語に関してはわが国に取り組みが他のアジアの国の研究をリードしています。この優位性をアジアの協力基盤の確立に使うことは極めて重要な課題だと思っています。(機械翻訳というある意味では閉塞感のある古い課題も、ユニバーサルデザインという視点から見れば斬新な緊急性のある課題だと思っています)

・各重点施策についてそれぞれどのような目標・スケジュールを設定して取り組むべきか。

- (1) 中国語、日本語、韓国語、ベトナム語および英語の5カ国並列コーパスを作成し、公開する(これまでの並列コーパスは2カ国で、これでは相互にしか変換できません。一気に5カ国を並列化することで、その可能性や応用は広がります。)
- (2) このコーパスを使ったさまざまな応用(機械翻訳、多言語新聞、多言語チャット、多言語 Web ページ、多言語ドキュメントなど)の技術を開発する。
- (3) これらの技術を使った具体的な事業を展開する(1)は1-3年次、(2)の2-5年次、(4)3-5年次、

・各重点施策の推進にあたって取り組むべき課題、留意すべき点は何か。

- (1) このプロジェクトは日本だけではできません。少なくとも中日韓越の4カ国の協力を得て、国際プロジェクトにする必要があります。
- (2) このとき日本語教育への応用も視野に入れること

以上